

「教えて！美術鑑賞のこと」

国語の先生方の美術鑑賞に関するさまざまな疑問を、鑑賞教育に力を入れているDIC川村記念美術館の学芸部の方にお聞きしました。
(答えてくれたのは、学芸課長の鈴木尊志^{たかし}さんです。)



← どんな作品を鑑賞させたらいいの？

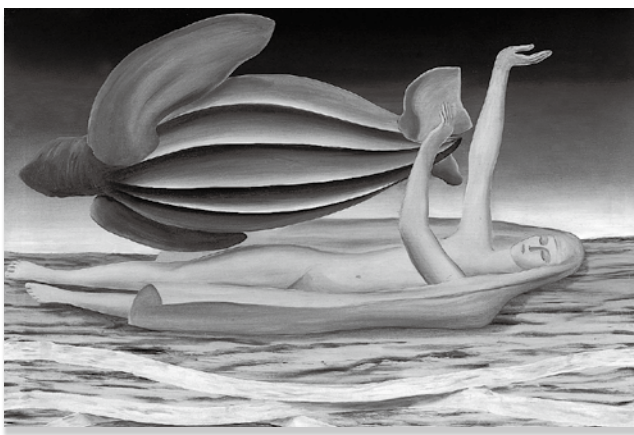
——鑑賞文を書かせる際、生徒たちにどのような作品を鑑賞させたらよいのでしょうか。

物語性のある作品のほうが、言葉で表現しやすいので、鑑賞文を書くときに適していると思います。当館の所蔵作品でいえば、シャガール(※1)の「ダヴィデ王の夢」は、いろいろな人物が描かれているため、子どもたちはそこから想像をめぐらせ、鑑賞の授業がとても盛り上がります。シャガールの作品は物語性がありますし、色彩も豊かなので、中学生が鑑賞文を書くのに適しているかもしれませんね。また、当館で所蔵しているマグリット(※2)の「冒険の衣服」も、「どんな場面なんだろう」と不思議に

感じ、さまざまな言葉が出てきます。マグリットの作品は不思議なものが多いので、子どもたちは引きつけられると思いますよ。逆に、ポロック(※3)のような抽象画は、見たときに圧倒されますが、そのよさを言葉で表現することは、中学生には難しいかもしれません。

——教科書(二年 P 202―203)に掲載されている作品以外に、おすすめのものがあれば教えてください。

教科書には、ゴッホの「夜のカフェテラス」が掲載されていますが、「アルルの跳ね橋」「カラスのいる麦畑」などの風景画もよいと思います。ゴッホはその土地の空気、光、風の流れを見事に描ききった、類まれな画家です。ゴッホの風景画を見れば、子どもたちから、いろいろな言葉が出てくることでしょう。



冒険の衣服
ルネ・マグリット
キャンヴァス・油彩 80 × 120.2cm 1926年

日本画では、長谷川等伯^{とうはく}の「松林図」(※4)をおすすめします。墨一色の中に、風の動きや松林の空気を感じ取ることができる傑作です。中学生にもなれば、この作品のよさを言葉で表現できるのではないでしょう

うか。また、北斎や広重の浮世絵は、色彩や構図が西洋の流れとはまったく異なるので、西洋画と比較させながら子どもたちに見せたいですね。

それから私は、ゼビレオナルド・ダ・ヴィンチのデッサンを鑑賞してほしいと思っています。ダ・ヴィンチは、人間、鳥、水の流れなど、自然をつぶさに観察してデッサンをし、そこから自然の原理や法則を見つけていきました。ダ・ヴィンチの観察力のすばらしさは、きっと中学生の感性にも響くのではないかと思います。

← どうやって鑑賞させるの？

——それでは、それらの作品をどうやって鑑賞させたらよいのでしょうか。先生が心がけることなどがあれば教えてください。

最初は、作家名やタイトルは見せずに、「その作品を見て純粋にどう感じたか」ということを、まず言葉で表現させることが

大事だと思います。「あたたかい」とか「悲しい感じがする」とか、拙^{つた}くてもよいので、感じたままの言葉を出させるんです。

——その言葉から、「どうしてそう感じたの?」「他の言葉で言い表してみて」と先生が投げかければ、鑑賞文を書くための、より具体的な言葉が引き出していけそうですね。

そのときに先生が気をつけなければならないのは、どんな言葉が出てきても「絶対に否定しないこと」です。そもそも作品の見方に正解はありません。それぞれの視点で鑑賞すればいいんです。子どもたちが、互いに自分の見方を出し合って、友達に共感したり、意外な見方に驚いたりして、コミュニケーションをとりながら、鑑賞を楽しむことが大事。

先生の役割は、子どもたちが心を開いて話せる雰囲気をつくり、彼らの言葉を整理することなので、美術の専門知識がない先生でも、子どもたちに美術作品を鑑賞させることはできます。

今回、国語の教科書に「鑑賞文を書く」という教材が位置づけられたそうですが、鑑賞文を書く前提で作品を見ると、おのずと思索的になりますし、「書く」という行為で、自己との対話が深まるでしょう。鑑



DIC 川村記念美術館 (千葉県佐倉市)
20世紀美術を中心とした多彩なコレクションを、豊かな自然の中でゆったりと鑑賞することができる美術館。1998年より、主に小・中学生を対象とした対話型の鑑賞教育プログラム「美術教育サポート」を行っている。

- ※1 シャガール (Marc Chagall 1887-1985)
ロシアに生まれ、フランスで活躍した画家。故郷への追想、妻への愛などをモチーフに、詩情あふれる幻想的画風で知られる。
- ※2 マグリット (René Magritte 1898-1967)
ベルギーの画家。シュルレアリスム運動に参加。一見無関係と思える日常的なイメージを組み合わせ、不可思議な幻想空間を描いた。
- ※3 ポロック (Jackson Pollock 1912-1956)
アメリカの画家。抽象表現主義の代表的な存在の一人。彼の画法は「アクション・ペインティング」とも呼ばれた。
- ※4 「松林図」(16世紀頃) 安土桃山時代の絵師、長谷川等伯が霨に包まれた松林を屏風画として描いたもの。国宝。東京国立博物館所蔵。